

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			解剖学Ⅴ	履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			大野 政明	講義形式	講義
学習目標と講義概要			今まで学んできた解剖学的知識を再構築し、器官相互の有機的な繋がりを理解する。はり師・きゅう師の分野に必要な解剖学的知識を概説できるようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	解剖学総論（細胞・組織）		
2	1	2	解剖学統合論 1（運動器系 1）		
3	1	2	解剖学統合論2（運動器系 2）		
4	1	2	解剖学統合論3（内臓系 1）		
5	1	2	解剖学統合論4（内臓系 2）		
6	1	2	解剖学統合論5（内臓系 3）		
7	1	2	解剖学統合論6（内臓系 4）		
8	1	2	解剖学統合論7（脈管系 1）		
9	1	2	解剖学統合論8（脈管系 2）		
10	1	2	解剖学統合論9（神経系 1）		
11	1	2	解剖学統合論10（神経系 2）		
12	1	2	解剖学統合論11（神経系 3）		
13	1	2	解剖学統合論12（感覚器系）		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1）板書及び説明、解説 2）資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「解剖学 第2版」（公社）東洋療法学校協会編，河野邦雄・伊藤隆造ほか著，医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			生理学Ⅳ	履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			仲條 佐登美	講義形式	講義
学習目標と講義概要			今まで学んできた解剖学的知識を再構築し、器官相互の有機的な繋がりを理解する。はり師・きゅう師の分野に必要な解剖学的知識を概説できるようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第10章 神経の要点		
2	1	2	第11章 筋：		
3	1	2	第12章 運動 1：		
4	1	2	第12章 運動 2：		
5	1	2	第12章 運動 3：		
6	1	2	第13章 感覚 1：		
7	1	2	第13章 感覚 2：		
8	1	2	第13章 感覚 3：		
9	1	2	第13章 感覚 4：		
10	1	2	第14章 生体防御機構 1：		
11	1	2	第14章 生体防御機構 2：		
12	1	2	第 9 章 生殖・成長と老化		
13	1	2	第15章 身体活動の協調		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書・プレゼンテーション及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「生理学 第3版」 (公社)東洋療法学校協会編、内田さえ・原田玲子ほか著、医歯薬出版					
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			臨床医学各論Ⅲ	履修単位/時間	1 単位 30 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			川浦 渉太	講義形式	講義
学習目標と講義概要			各疾患の病態病理を理解することで、はり師、きゅう師に必須となる知識を習得する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	オリエンテーション 復習		
2	1	2	第九章循環器疾患（A. 心臓疾患, B. 冠動脈疾患）		
3	1	2	第九章循環器疾患（C. 動脈疾患, D. 血圧異常）		
4	1	2	第十章血液・造血器疾患		
5	1	2	第十一章神経疾患（A. 脳血管疾患, B. 感染性疾患）		
6	1	2	第十一章神経疾患（C. 脳・脊髄腫瘍, D. 基底核変性疾患）		
7	1	2	第十一章神経疾患（E. その他の変性疾患, F. 認知症（痴呆）性疾患）		
8	1	2	第十一章神経疾患（G. 筋疾患, H. 運動ニューロン疾患, I. 末梢神経疾患）		
9	1	2	第十一章神経疾患（J. 神経痛, K. 機能性疾患）		
10	1	2	第十三章その他の領域（A. 小児科疾患, B. 一般外科）		
11	1	2	第十三章その他の領域（B. 一般外科, C. 麻酔科, D. 婦人科疾患, E. 皮膚科疾患）		
12	1	2	第十三章その他の領域（F. 眼科疾患, G. 耳鼻科疾患, H. 精神科疾患, I. 心療内科, J. 加齢に伴う病態）		
13	1	2	第九章, 第十章, 第十一章, 第十三章まとめ		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1）PowerPointによるスライド及び説明、解説 2）資料の配布及び説明、解説 3）教科書の音読					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「臨床医学各論 第2版」（公社）東洋療法学校協会編，奈良信雄ほか著，医歯薬出版 ICT機器 プロジェクター、PowerPoint					
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			リハビリテーション学Ⅰ	履修単位/時間	1 単位 30 時間
教員資格			理学療法士	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			山本 雅貴	講義形式	講義
学習目標と講義概要			リハビリテーション医学の基礎知識を学習し、その重要性を理解することを目標とする。リハビリテーションの理念、総論について概説するとともに、対象疾患・外傷の評価・治療的アプローチ、実際についても紹介する。また、身体行動を理解するうえで基盤となる運動学についても概説する。鍼灸師が備えるべきリハビリテーション医学の基礎学力の形成をめざす。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第1章 リハビリテーション総説（障害）		
2	1	2	第1章 リハビリテーション総説（医学と医療）		
3	1	2	第1章 リハビリテーション総説（障害の評価①）		
4	1	2	第1章 リハビリテーション総説（障害の評価②）		
5	1	2	第1章 リハビリテーション総説（医学的リハビリテーション①）		
6	1	2	第1章 リハビリテーション総説（医学的リハビリテーション②）		
7	1	2	第1章 リハビリテーション総説（医学的リハビリテーション③）		
8	1	2	第1章 リハビリテーション総説（医学的リハビリテーション④）		
9	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（脳卒中）		
10	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（脊髄損傷）		
11	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（切断）		
12	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（骨関節疾患①）		
13	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（骨関節疾患②）		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1）板書及び説明、解説 2）資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
リハビリテーション医学：医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
中高保健体育教諭資格の他、柔道整復師資格、理学療法士、パーソナルトレーナーの資格を有し、整形外科勤務において外傷処置やリハビリテーション業務を通して得たものを活かし授業を進める。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			リハビリテーション学Ⅱ	履修単位/時間	1 単位 30 時間
教員資格			理学療法士	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			山本 雅貴	講義形式	講義
学習目標と講義概要			リハビリテーション医学の知識の再確認と弱点分野の把握を行い、総合的理解を目指す。加えて理論やエビデンス、また疾患との関連性をふまえ、専門的視点からリハビリテーション医学・医療を考察できる臨床能力の養成を目指す。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（骨関節疾患③）		
2	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（関節リウマチ）		
3	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（末梢神経障害）		
4	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（パーキンソン病）		
5	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（呼吸器疾患）		
6	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（心疾患）		
7	1	2	第2章 各疾患のリハビリテーション（他の疾患）		
8	1	2	第3章 運動のしくみ（運動学の基礎／身体各部の機能①）		
9	1	2	第3章 運動のしくみ（身体各部の機能②）		
10	1	2	第3章 運動のしくみ（身体各部の機能③）		
11	1	2	第3章 運動のしくみ（歩行）		
12	1	2	まとめ1		
13	1	2	まとめ2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1）板書及び説明、解説 2）資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
リハビリテーション医学：医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
中高保健体育教諭資格の他、柔道整復師資格、理学療法士、パーソナルトレーナーの資格を有し、整形外科勤務において外傷処置やリハビリテーション業務を通して得たものを活かし授業を進める。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			衛生学・公衆衛生学Ⅱ	履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要			疾病予防と健康の保持・増進、健康阻害の成り立ちを社会環境との関連から理解する。本教科は、保険医療福祉の基本事項を理解し、疾病予防、健康増進の知識や技術および環境問題の法制・倫理をわきまえ、これに関する社会的側面を論じることができるようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	産業保健		
2	1	2	精神保健—精神の健康と精神障害		
3	1	2	母子保健		
4	1	2	学校保健		
5	1	2	成人・高齢者保健		
6	1	2	感染症とその対策		
7	1	2	消毒法1		
8	1	2	消毒法2		
9	1	2	疫学		
10	1	2	保健統計		
11	1	2	疫学		
12	1	2	保健統計		
13	1	2	まとめ		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
衛生学・公衆衛生学：医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			医療概論	履修単位/時間	1 単位 15 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	講義
学習目標と講義概要			現代の医学と医療を理解し、古今東西の医学史についても学ぶ。将来鍼灸師として幅広い知識を学び、論じることができるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	現代医学の課題 1) 西欧近代医学 2) 東洋医学		
2	1	2	現代の医療制度 1) 医療従事者と医療施設 2) 医療と医療経済		
3	1	2	現代の医療制度 3) 医療保険のしくみ 4) 公的医療負担		
4	1	2	現代の医療制度 5) 介護サービス行政		
5	1	2	医療概論 1) 倫理とは 2) 医療倫理		
6	1	2	施術者としての倫理・医学史		
7	1	2	単位認定試験		
8	0.5	1	解答解説		
合 計					
15	7.5	15			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「医療概論 第2版」 (公社)東洋療法学校協会編, 佐藤純一・池田光穂ほか著, 医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			関係法規	履修単位/時間	1 単位 15 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	講義
学習目標と講義概要			「あはき法」や「医療、地域保健、福祉関連法規」などを習得する。また、医療人としての知識を学び論じることができるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	序論 法とは何か		
2	1	2	あん摩マッサージ指圧師，はり師，きゅう師，等に関する法律①		
3	1	2	あん摩マッサージ指圧師，はり師，きゅう師，等に関する法律②		
4	1	2	あん摩マッサージ指圧師，はり師，きゅう師，等に関する法律③		
5	1	2	関係法規 医療法・医師法		
6	1	2	関係法規 その他の関係法規		
7	1	2	単位認定試験		
8	0.5	1	解答解説		
合 計					
15	7.5	15			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「関係法規 第7版」 (公社)東洋療法学校協会編，前田和彦著，医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名			社会保障制度及び職業倫理	履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	講義
学習目標と講義概要			社会保障制度及び職業倫理を理解し、現代医学、生命倫理について論じることができるようにする。また、医療概論、関係法規、社会鍼灸学、衛生学・公衆衛生学の対応する箇所についても学び論じることができるようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	社会保障制度の概要①		
2	1	2	社会保障制度の概要②		
3	1	2	社会保障制度の概要③		
4	1	2	医療保険制度の概要①		
5	1	2	医療保険制度の概要②		
6	1	2	医療保険制度の概要③		
7	1	2	介護保険制度の概要①		
8	1	2	介護保険制度の概要②		
9	1	2	介護保険制度の概要③		
10	1	2	職業倫理①		
11	1	2	職業倫理②		
12	1	2	職業倫理③		
13	1	2	まとめ		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「関係法規 第7版」(公社)東洋療法学校協会編, 前田和彦著, 医歯薬出版 「医療概論 第2版」(公社)東洋療法学校協会編, 佐藤純一・池田光穂ほか著, 医歯薬出版 「社会あはき学 第3版」(公社)東洋療法学校協会編, 教科書執筆者小委員会, 医道の日本社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					